小規模多機能ホーム福ちゃんの家
令和５年度　第５回運営推進会議

開催日時　　令和６年１月13日（土）　１４：００　～　１５：００
開催場所　　福ちゃんの家　２階コミュニティルーム「TSUDOI」

運営推進委員

下荒井町内会長	堀江　達郎　様　（欠席）	
下荒井地区民生委員	吉野　洋美　様	渡邉　牧子　様
七郷地域包括支援センター	渡邉　美智子　様	
福ちゃんの家　利用者家族代表	住石　富美　様（欠席）	
福ちゃんの家　代表/管理者	福井　大輔	鈴木　隆洋
計画作成担当	叶内　亜紀	

議　　題

１、　福ちゃんの家より報告
２、　七郷地域包括支援センター様より
３、　町内会長様より
４、　民生委員様より
５、　利用者家族様より　（欠席）
６、　代表　福井より
７、　その他　報告・連絡　など

１、 福ちゃんの家より報告

（１） 事業所の登録状況（令和６年 １月 10 日現在）

＊小規模多機能型居宅介護

	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
男　　性	１名	０名	３名	１名	３名	０名	１名
女　　性	０名	２名	５名	２名	２名	３名	０名
合　　計	１名	２名	８名	３名	５名	３名	１名

＊現在、認定申請中の女性１名。

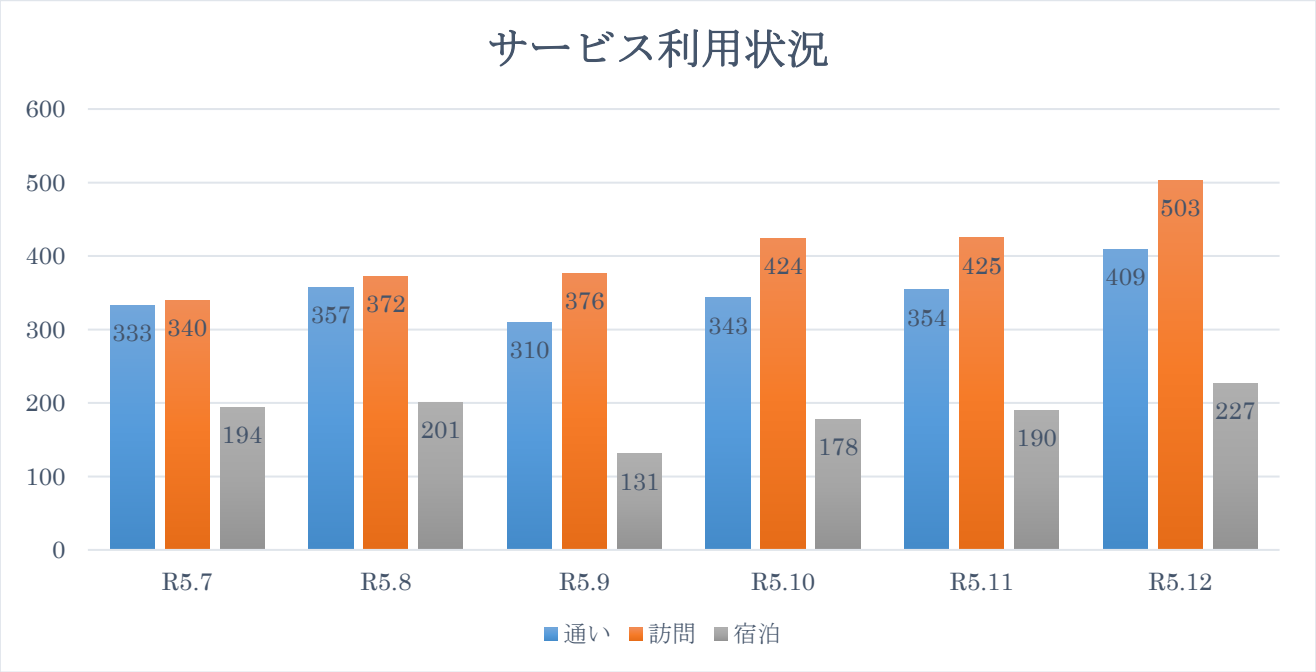
合計　　23 名登録　・　平均要介護度　2.3　（要支援者含まず）

＊共生型生活介護、短期入所

	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
男　　性	０名	０名	０名	０名	１名	０名
女　　性	０名	０名	０名	１名	０名	０名
合　　計	０名	０名	０名	１名	１名	０名

自費利用：要支援 1-男性１名、女性０名

要支援２-男性０名、女性０名



＊共生型短期入所の利用者様２名、宿泊は 11 月に７回、12 月に８回の宿泊利用あり。

【新規利用契約者】

・Ｈ様　若林病院より紹介。要介護 5 男性。退院後すぐ自宅に戻る事に不安あり。福ちゃんの家宿泊利用から始め定期的に自宅に戻る事を目的としてご契約。昼食から自宅に戻り、ご家族と一緒に過ごし夕方に事業所に戻り宿泊利用での利用開始。

・Ｏ様　青葉区の小多機より相談。要介護１女性。中嶋病院入院中。退院を機に娘様が暮らす若林区沖野に転居される事となり、福ちゃんの家利用を相談。週２回の通い、週２回の訪問（掃除や通院など）での利用開始。

・Ｈ様　アンダンチ居宅からの相談。アパート独居の要介護２男性。一人で外に行くなどで保護されることもあり。グループホーム入居を視野に入れながらも在宅生活を継続させたいと福ちゃんの家契約。

・Ｓ様　七郷包括より紹介。要介護認定申請中女性。ご夫婦で生活されており、旦那様が県外出張もあり、認知症の奥様を一人にすることに不安あり。出張時の宿泊、その他の平日は週３回の通いと通い以外の日は１日３回の訪問をする形で契約。

・Ｋ様　共生型短期入所契約。自閉症。中学生の男性。同居の家族が仕事で関東に行く機会があり。その際の宿泊利用のため契約。

【契約終了者】

・上記Ｈ様、在宅生活が難しくなり福ちゃんの家宿泊利用がメインとなる。先日、グループホーム入居が決まり契約終了。

【新規相談者】

・七郷包括支援センターより紹介。要支援２女性。うつ病。入浴や人との交流、買い物支援を含めた相談。

・七郷包括支援センターより紹介。要支援１男性。現在区変中。アルコール依存症。食事が摂取出来ず入院。
退院後の宿泊利用での相談。

・六郷の杜より紹介。要介護１女性。転倒による骨折にて入院中。退院後、家族の仕事もあり日中一人となるため利用検討。
来週体験利用。

・七郷包括支援センターより紹介。要支援１女性。独居。今後の生活の不安もあり利用検討。先月見学に来所。

（２）　事業所の事故報告（令和５年 11 月１日～令和６年　１月 10 日現在）

上記期間での事故報告について報告いたします。

事　故　項　目	
転倒　・　転落	10 件　（11/3　黒ソファから転落。） （11/8　ベッドからの転落。） （11/16　自力でベッドから車椅子へ移乗しようとされるが転倒。） （11/28　ベッドから降りて出て来られる。センサー設置忘れ） （12/2　フロアの独歩中に転倒。） （12/6　ベッドサイドのポータブルトイレを使用する際に転倒。） （12/10　同上。ポータブルトイレを使用する際に転倒） （12/20　センサーの設置忘れ。ベッドサイドにて転倒） （12/24　フロアを独歩中の転倒） （12/24　車椅子の方と風船バレーをしており、床から風船を拾おうとした際に前のめりに転倒）
誤飲　・　誤嚥など	1 件　（11/28　ハンドソープを口に入れてしまう）
内服関係	4 件　（11/12　未薬。手渡した内服薬を上着ポケットに入れ持ち帰ってしまう （11/20　一度内服のため口に入れるも吐き出してしまっており後から気付く） （11/23　昼食後薬の落薬。） （12/21　朝食後薬の未薬。）
離設関係	0 件
切　傷　等	1 件　（12/26　爪切り中に誤って皮膚を挟んでしまう）
苦情	1 件　（12/4　確認不足で訪問時に自宅を間違えてしまい、近隣の別の方の自宅へ行ってしまう。）
車　輌　事　故	0 件

その他	1 件　（12/30　利用者同士のトラブル。両肩を掴んで挨拶をされた際に驚き、背中を叩いてしまう）

ひやりハット報告

ひやりハット	80 件（利用者同士で食事のやり取り。　1 件） （ティッシュや泡石鹸など誤飲や異食恐れ。　6 件） （内服関係。　8 件） （洗濯するズボンからリモコンが出てくる。　1 件） （衣類の取り違い、内履きのまま帰宅。　3 件） （他者居室への入室。　1 件） （転倒、転落恐れ。　33 件） （車椅子などのブレーキ操作ミス。　3 件） （ご利用者様同士のトラブル。　5 件） （センサー設置、設定ミス。　1 件） （バイタル測定せず入浴される。　2 件） （事業所から外へ。離設の恐れ。　4 件） （連絡帳の取り違え。　1 件） （訪問、送迎スケジュールの確認漏れ。　4 件） （駄菓子屋商品の持ち帰り。　1 件） （貼り薬の剥がし忘れ。　1 件） （キッチンカウンターの蜂蜜を居室に持ち帰る。　1 件） （フロア内、屋外での排尿。　1 件） （急変時の連落ミス　1 件） （事業所や他者の物を持ち帰る　2 件）

(3)その他　事業所からの報告

•11 月末に初めて生活介護の実習として支援学校の高校生の受け入れを 2 日間行う。（卒業後の進路先としての実習）2 日間ともに教員、ご家族が終日付き添う形でありましたが、物づくりへの取り組みやボードゲーム、かるた遊びなどで交流を行う。

•12 月 25 日アスノバ福ちゃんの家利用の児童と合同でのクリスマス会を開催。バイキング形式での食事提供。合同でのゲーム、1 階の利用者様から児童へプレゼントを渡していただくなど交流を図ることができました。

•11 月～現在までコロナ、インフルエンザの状況。年明け、インフルエンザA型に 1 名の職員が罹患。幸いにも他職員や利用者様への感染には至らず。5 日間の療養の後、復帰。依然としてインフルエンザの感染者多い状況もあるので、これまで通り日々の感染予防策を継続していきます。

•12 月 28 日毎年恒例となっている事業所での餅つきを開催。アスノバ福ちゃんの児童など他事業所の児童とひまわりサークルの方にも声を掛け、賑やかに実施する事が出来ました。

•共生型生活介護、短期入所に関して、短期入所は今月 1 件契約予定。月末にも 1 件の見学を予定。

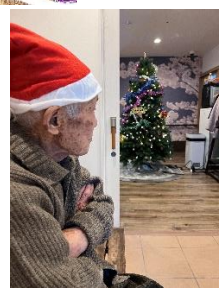
現在、日中一時支援（家族の様々な事情で対応できなくなった際の日中時間帯に一時的に対応を行う事）が対応可能かの問い合わせを仙台市に行っている所です。日中一時支援が可能となれば、短期入所へとスムーズに移行していけるのではないかと考えています。

2、人事

・11 月～12 月末での人事なし。

3、　事業所の活動報告

・クリスマス会、餅つき。



・その他（金蛇水神社への外出、日常風景）

※次回、令和５年度　第３回運営推進会議開催は　令和６年　３月 16 日(土)　14 時～（予定）となります。

令和５年度　第５回　運営推進会議　報告事項

・七郷包括支援センター　渡邊様

１２月～１月は寒さもあったので包括としての行事はお休みしている。介護家族交流会は毎月実施しているが女性３名の参加にとどまっている。参加を遠慮している方も多くいると思うので現在介護の悩みを抱える方に風穴を開けることも来年度の課題としていきたい。現代は近隣に悩みを打ち明けにくい社会でもあるため、そういった方のサポートが出来ればいい。

今年もコーヒーが飲める交流会を 10 時 30 分～12 時に開催するので参加してほしい。気安く集える場所になれればいい。

多くの方が開催場所までの移動手段が少ない事が課題となっている。家族に頼むのも気が引けるというのもある。

・民生委員　渡邊様

以前は 22 名で活動している時期もあったが、今年は定数 29 名の民生委員で七郷地区の活動を行っていく。

七郷地域は自宅に籠っている人も多く今年は訪問活動を多くしていく。また、サロン活動など集まる機会を増やしていきたい。荒井南でマジックショーを開催したが 4 名の参加にとどまった。地域の繋がりが薄くなってしまっている事も感じるため家から出る機会を設け交流を増やしていきたい。

・町内会長　堀江様（欠席）

・民生委員　吉野様

四谷地区のサロン会は家も点々としており、移動が難しいとの声も多くサロン会の開催が難しい。11 月に噺家の集まりがあったが参加 4 名、ボランティア 6 名の 10 名しか集まらず。移動の足がないとことが集まれない要因の一つとしてある。また回覧板から時間が経過するとイベントを忘れてしまう事もある様子。前日の声掛けの必要性も感じている。

・利用者ご家族　住石様（欠席）

・代表　福井

七郷包括さんからの紹介もあり契約者が増えてきている。事業所としてはヒヤリや事故など同じような状況はないか？対策は出来ているかといったことをしっかりと行っていく。共生型の形として日中一時支援についての打ち合わせはしている。短期入所を利用していただく前の関係作りなど利用者、職員にとってもメリットはあると感じる。その中でも小多機と日中一時支援の人員配置の問題はクリアできるかなどはっきりとさせていく。仙台市の同行として施設が増えている現状がある。在宅を支える小多機としての役割を果たしつつ、現在、ご利用いただいている方、ご家族と今後の方向性の見通しについてコミュニケーションは必要。

アスノバ福ちゃんの登録者も増えてきている。1 階と 2 階の職員との連携も密にしていきたい。

昨秋からまちのわ図書館にて子育てママへの栄養相談会を開催している。今後は高齢者や子供達にも通じる理学療法士の教室など未来企画の職員が行うサロン会を開催して地域の方が外に出てもらう機会を作っていければいい。